

2019年原子力エネルギーマネジメントスクール 研修生の選考について

(1) 選考の考え方

- 応募者が募集人数の20名以下の場合、募集時の以下要件を満たしていれば、研修生として認める。

ー将来の原子力界で活躍が期待される若手(40歳未満)の研究者、技術者、広報担当者、行政関係者、規制関係者など。3年以上の職務経験を持ち、学士相当あるいは学士以上の学位を持つ者。

ー英語に関しては、TOEIC600点、TOFEL500点、英検準1級相当以上の英語力。

- 応募者が20名を超える場合、(2)の選考基準で参加者の選考を行う。

(2) 選考基準

- ① 多様性の観点から、これまでに参加実績のない機関からの応募者を優先する。また、応募者多数の場合、同じ機関から2名以上応募の時には、1名に絞ることもあり得る。
- ② 性別の多様性も考慮する。
- ③ 本スクールの経験が、応募者の業務に活かせるかを考慮する。
- ④ 英語力 (TOEIC や TOFEL 等のスコア) が高い人を優先する。
- ⑤ CLP4NET によるプレテスト結果は参考程度に使用する。

以上